

特殊車両の適正運行の促進 好事例

確認の徹底(A) 教育強化(B) 情報の共有(C) 荷主への対応(D) その他(E)

駒運輸機工 株式会社

～ コンプライアンスなくして安全なし

安全なくして会社の存続なし ～



会社概要

駒運輸機工株式会社は、長谷川企業機構の運輸部門を担当し、重量構造物から特殊貨物まで、あらゆる運送のプロフェッショナルとして多様化するニーズに対応しています。



取組概要

事例① 特車専属スタッフの事前運行ルート調査の徹底と調査結果に基づく安全運行の確保(A)

6ヶ月前を目途に通行ルートの道路を実地踏査して自分たちの「目」で確認し、その調査結果を基に特車専属スタッフと協議して、より安全により効果的なルートをチームで選択し「安全」と「法令遵守」を徹底している。

事例② 出発前点検の確実な励行(A)

運行管理者と特車ドライバーの両者による出発前点検において、積載物の長さ、幅、高さをスケールを用いて確実に計測して許可証の寸法に違反していなかを確認後、ドライバー自らの手で固縛状況を必須で確認させている。

事例③ 運行管理者、運転手、配車スタッフによる出発前会議の実施(A・C)

出発前会議においては、特車許可証内容の確認をする他ドライブレコーダーの画像を基に運転手に危険箇所や要注意事項等の周知徹底を図っている。

事例④ 安全会議におけるコンプライアンス及び労務教育の徹底(A・B)

年6回(隔月)開催する安全会議内にて特殊車両通行許可制度についてや警察官OBによる交通事故の事例等を基にコンプライアンス教養や安全運転診断レポート検証による社内ランキングを公表し、社員の意識向上を図っている。また社員の体調管理について対面点呼、検診結果の追跡治療促進、インフルエンザ等感染予防策も講じている。



取組① 現場確認とルート検討状況



取組③ 出発前会議の打合せ状況



取組④ 安全会議の状況